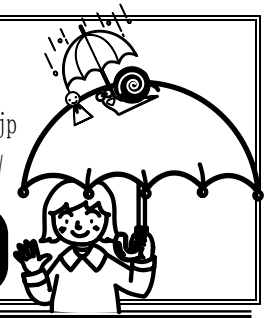


# 六つの華だより

糸魚川市立磯部小学校  
平成 26 年 6 月 25 日(水)No. 5  
E-mail isobesho@itoigawa.ed.jp  
URL <http://www.itoigawa.ed.jp/isobesho/>



美しい日本海 豊かな自然 子どもたちの笑顔いっぱい磯部小

## 好き好き至上主義？

校長 高橋 雅史

「成りたい自分に成れる！」「本当の自分探し」「好きな仕事でキャリアを積める！」こんな若者向けのキャッチコピーをCMなどで耳にすることがあります。人にはもともと個性があり、「本当の自分」がもともと存在し、「好きなことをすることが自己実現」と私には聞こえます。耳に心地よい言葉、ふんわりとされていて、夢のような未来を感じさせる言葉です。



これらの言葉を聞く度に、私は少し心配になります。そう簡単に、成りたい自分に成れる人は、まずいないのではないのでしょうか。第一に「本当の自分」などというものは、私はこの年齢になっても、未だに見つけたとは言えません。個性は、最初からその人に生まれつきそなわっているものではなく、様々な経験や学びを通して形成されるものだと思います。仕事は好き嫌いだけで選択できるものではなく、好きなことだけをしていては、キャリアが形成できるはずがありません。

そして、それらの言葉は、最近の子どもたちに多い、「この勉強は、好きじゃない」や「嫌いだからしたくない」という発想とつながっているように思います。

東京工業大学名誉教授の本川達雄さんは、すべてを好き嫌いで決めるやり方を、「好き好き至上主義」と名付けています\*<sup>1</sup>。そして、その問題点として、「偏食すれば健やかに育てないのと同様に、教科を『偏食』すると、脳も健やかに育てないだろう。友をはじめ、人生をふくめて、好き嫌いを超えた付き合いをしなければ、心も健やかに育てない」と指摘しています。

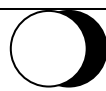
「算数は嫌いだからしない」「国語の漢字練習だけする」、これらの子どもたちの言葉は意思とは言えません。好き嫌いあるいは単なるわがままです。意思とは、例えば「学習もきちんとした上で、大好きなサッカーに全力で取り組む」のように、目指す目的に向かってがんばり抜こうとする気持ちの表れではないのでしょうか。勉強も「好き嫌い」で決めてよいものではなく、様々な人びとの交流やつきあいも「好き嫌い」を基準にしてしまっただけでは広まったり深まったりはしないはずで

「好き好き至上主義」の発想では、様々な困難を乗り越えられるような強い人間に育っていけるのかがとても気がかりです。

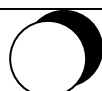
\* 1 本川 達雄『好き好き至上主義』「日本教育」No. 412 平成24年6月号 日本教育会 P.5

## 7月の主な行事予定

- 2(水) 全校朝会・全校ことばの力テスト
- 3(木) 児童集会(3限)・祖父母参観日
- 4(金) クラブ活動
- 9(水) 児童朝会・全校算数テスト
- 10(木) 子ども貯金日・委員会活動
- 11(金) 講演会(特別支援教育)・学級懇談会
- 15(木) 全校SST(2限)
- 16(水) 音楽朝会
- 17(木) 地区児童会
- 18(金) 防犯教室・学期末清掃①
- 22(火) 3限給食後放課
- 23(水) 学期末清掃②
- 24(木) 1学期終業式・水泳大会壮行会
- 25(金) 夏季休業開始(~8月27日まで)・「夏休みいそべ塾」開始
- 28(月) 「夏休みいそべ塾」2日目
- 29(火) 糸魚川市学童親善水泳大会(会場: サンドリーム青海)
- 30(水) 「夏休みいそべ塾」3日目・川根本町交流会(5年生)
- 31(木) 「夏休みいそべ塾」4日目・能生地域学校保健委員会



## 6月の磯部小学校



石  
海  
縦  
い  
ま  
し  
た。  
割  
り  
班  
で  
協  
力  
し  
、  
筒  
作  
戦  
を



地  
引  
き  
網  
、  
魚  
の  
捌  
き  
、  
カ  
ニ  
つ  
り  
な  
ど  
普  
段  
で  
き  
な  
い  
貴  
重  
な  
体  
験  
を  
す  
る  
こ  
と  
が  
で  
き  
ま  
し  
た。

## 校長室から

# 地引き網と「いただきます」



6月10日(火)に漁協青年部の皆様から、地引き網体験活動を開催していただきました。子どもたちのために継続していただいている磯部小の伝統的な事業です。

この地引き網体験で子どもたちは、磯部ならではの貴重な体験をさせていただいています。それは、自分たちの食べる食材を自分の手で取るという体験です。「自分たちが引いた網の先に日本海で育った魚が入っていて、それを食べることができる」これは、漁師を職業にする皆様でなければ日常的にはできないことです。

「いただきます」、食べる前にするこのあいさつは、“(他の動植物の)生命をいただく”という意味があります。私たちの身体は、私たちが食べたもので出来ています。米、野菜、肉、魚…、私たちの生命と健康のもとになる食材で動植物とかかわりのないものはありません。私たちは他の動植物の生命をいただき、受け継いで、自分たちの生命を繋いでいることとなります。その感謝の気持ちを表す言葉が、「いただきます」というあいさつです。

レトルト食品やサプリメントの錠剤では、他の動植物の“生命をいただく”という思いにはなかなかいたりません。網のなかの魚をさわり、手で取り、身をさばき、焼いて食べることを自分でやってみてはじめて、「生命をいただく」ことが実感できるのだと思います。

地引き網や魚を捌く体験は、漁協青年部の皆様の段取りや準備があつてはじめてできた体験です。青年部の皆様にご心より感謝いたします。

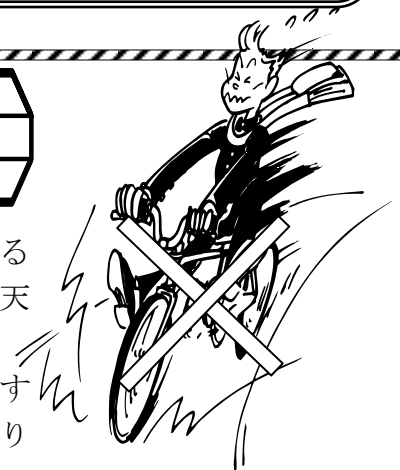
## 水の事故、交通事故に注意を!!

放課後、学校まで港南公園で遊んでいる歓声が聞こえてくることがあります。子どもたちが外で遊ぶには、気持ちのよい天気が続いています。

外で元気よく遊ぶのはよいことですが、遊びに夢中になりすぎて約束やきまりを忘れると、一つ間違えば大事故につながりかねません。

特に、これからは海岸や川、プール等の水の事故が多発する季節です。また、今年新潟県内の交通事故が非常に増加しているそうです。そして、子どもの交通事故の多くは、自転車などでの道路飛び出しを原因としています。

子どもたちの危険な遊びや行為を目にされたら、ぜひその場でしっかりと注意してほしいと思います。また、学校へもその時の様子や子どもたちが素直に注意を聞き反省したかななどについても、ぜひお知らせください。





# 作文紹介



とても貴重な体験  
になった地引き網に  
ついて、4年生  
は、日記風に作文  
にまとめました。



## 「地引きあみでがんばったこと」

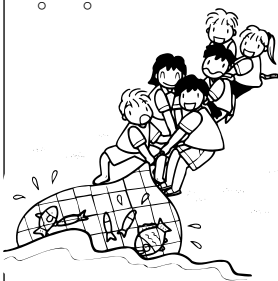
四年 七原 航矢

ぼくは、十日に地引きあみをがんばりました。あみを引いている時に、望月先生と谷口先生に、「こしがひけていていいね。」と、言われました。あみの中に入った魚は、ウグイ、カタクチイワシ、オニオコゼ、カイガシラでした。ぼくが昼食で食べた魚貝類は、エビ、メギス、ウグイ、イカでした。午後のかにつりで、最初は、かにがぜんぜんとれなかったけれど、後半になったら、他のグループの漁師さんにかにのとり方を教えてもらいました。来年は、ゆうしようしたいです。

## 「地引きあみ体験をして」

四年 山崎 穂乃

私は、地引きあみ体験をして楽しかったことが四つあります。一つ目は、つなを引くことです。つなをひく時は、足が熱かったけどがんばって引きました。そしたら、カタクチイワシが初めてとれました。二つ目は、魚をさばくことです。最初は、うまくさばくことが出来るか心配だったけど、漁しさんに教えてもらったら、うまくさばくことができてよかったです。三つ目は、魚をやく時です。熱かったけど、がんばって炭を入れたり、うちわであおいだりしました。やく時は、うでが火の近くにあって熱かったけど、ひっくりかえしたりしました。楽しかったです。四つ目は、カニつりです。一匹もつれなかったし、グループも最下位だったけど、がんばりました。カニがえさのイカをひっぱった時は、とてもうれしかったです。またやりたいです。



## 「地引きあみをして思ったこと」

四年 井田 つむぎ

私が地引きあみでがんばったことは、あみを引くこととかにつりです。あみを引くのは大へんでした。かにつりは、一ぴきもつれなかったけど楽しかったです。昼食はおいしかったです。まずメギスを食べてイカも食べました。たまごなしのエビを食べて、六年生のりりさんとエビがやけるのをまわっていました。エビはすごくおいしかったです。

## 「楽しかった地引あみ」

四年 伊藤 梨矩

ぼくは、地引きあみで楽しかったことは、あみを引くこととカニつりです。ぼくは、あみを力強く引っ張りました。魚が何ひきもいました。メギス、ヒラメ、クラゲ、カタクチイワシ、オニオコゼ、カナガシラ、エビなどがいっぱいとれたのでうれしかったです。カニつりでは、はしの方にカニがいっぱいいたので、そこをねらったら二ひきつれたのでよかったです。えさのイカはでっかいのに二回もとられてざんねんだったけど、二ひきとれたのでよかったです。地引きあみたいけんは、本当に楽しかったです。

